

CoCoDe からのお知らせ

★ キャンドルナイト in 旭川 ★



～電気を消してスローな夜を～
キャンドルの灯りの中、音楽に耳を傾けながらスローな夜を過ごしませんか？

日時：12月16日（土）15：00～18：00（予定）

場所：CoCoDeホール

入場：無料

内容：ミュージックフェスタ
合唱、タップダンス、演奏など

【古着等プレゼント市同時開催】

リサイクル品を無料で提供します



【お問合せ・お申込先】

旭川市市民活動交流センターCoCoDe

TEL：0166-74-4151 FAX：0166-39-2131

メール：info@cocode.jp

おいしい！たのしい！

こども食堂

ココデでみんなでいっしょにごはんをたべませんか？

料金

子ども 無料
保護者 100円

30食限定

【対象】子ども及びその保護者
※テイクアウトはして
おりません

高校生のお兄さん
お姉さんによる、
お勉強サポートも
あるよ♪

日にち 11月23日（木・祝）
11：00～13：00

ばしょ COCODE（ココデ）
みやまえ1条3丁目

※要予約です。

11月5日より
受付します

【申込み・お問い合わせ】
TEL：0166-74-4151

※体調不良の場合は
ご連絡ください。

インフォメーション

旭川市内で行なわれる
イベント情報等をご紹介します

イベント

北海道ほんものヴィレッジ & クリスマスヴィレッジ

【日時】

11月4日（土）10：30～16：00 ほんものヴィレッジ

11月5日（日）10：30～16：00 クリスマスヴィレッジ

【場所】旭川市市民活動交流センター CoCoDe

【入場】無料 雨天決行

【詳細】<https://fb.me/e/1fnQ67bMF>

【お問合せ】北海道ほんものヴィレッジコミュニティー事務局

TEL：090-7514-7752



イベント

編検 あみけん 旭川支部 作品展 2023

【日時】11月11日（土）・12日（日）10：00～17：00

【場所】旭川市市民活動交流センター CoCoDe

【内容】毛糸・レース作品展、ハンドメイド品販売 他

【お問合せ】TEL：090-5517-1446

https://twitter.com/amiken_asahikaw



イベント

第7回 旭川けん玉大会

【日時】11月12日（日）12：30 OPEN

【場所】旭川市市民活動交流センター CoCoDe 2階

【参加費】1人300円（小学生以下無料）

【同時開催】全日本もしかめ選手権大会旭川会場

【詳細・申込み】旭川けん玉サークル

ホームページ <https://asahikawakendama.blogspot.com/>



イベント

ほっとけないっしょ 地域の困りごと 地域支え合い活動講座

【日時】11月17日（金）13：00～17：00

【場所】道北地域旭川地場産業振興センター（旭川市神楽4-6）

【参加費】無料

【対象】アクティブシニア（元気な高齢者）等

【お問合せ】NPO法人北海道NPOサポートセンター

TEL：011-200-0973（代表）090-8668-9181（本事業専用）



ホットなあひびと

10月に「旭川で最初の写真師 中鉢直綱とあさひかわの写真展」を開催された谷口雅彦さんにお話しをお聞きしました。

Q. 中鉢直綱を知ったキッカケを教えてください。

25年前くらい前に、東京のオリエンタル写真工業株式会社が5年間、写真作家である私を支援していただいたことから、沿革調査に関わることとなり知ると、創立時の取締役役の中鉢直綱の名前があった。10代のころ、旭川の図書館で旭川市史を見ることがあり、中鉢写真館が旭川で初めての写真館だということを覚えていたことから同姓同名同一人物だと判明しました。

Q. 写真展を開催して市民の反応は如何でしたか？

初日から「中鉢写真館」撮影の明治の古い写真14点を持ってきて下さった方を始め、毎日、市内のあらゆる地域の方々から昔の写真を持って来て下さいました。写真とネガが家にいっぱいあるから見に来てほしいとか、大切な写真はどのように保存するのが適正かなどの問い合わせがありました。まるで写真よろず相談所のような感じでした。また来場者も若い人から高齢者まで幅広く、一人の滞在時間が平均1時間、長い人で3時間くらいに渡りじっくりと見て下さいました。700名の方がいらっしゃってくれました。



「これからの災害支援を考える北海道フォーラム」に参加して

2023年9月5日に札幌で開催された「これからの災害支援を考える北海道フォーラム」に参加しました。同フォーラムは旭川NPOサポートセンターが所属している「北の国災害サポートチーム」主催によるもので、今年で4回目になります。昨今の多発する自然災害に対して被災者支援の連携が全国的に進展しております。「北の国災害サポートチーム」は胆振東部地震の経験を踏まえ、道内のネットワーク化を図るとともに、他府県の被災者支援団体との連携を深めております。

今回のフォーラムでは最初に「災害支援ネットワークおかやま」と「北の国災害サポートチーム」の「災害発生時等における連携・協力に関する協定書」の締結式が行われました。その後、クロストークやワークショップを通して互いの知見を共有し、また情報を繋ぐことの大切さを学んだフォーラムとなりました。



Q. いろいろな写真をコレクションされているとお聞きしていますが、そのいくつかをご紹介しますか？

旭川関連の写真は、旧北海タイムス蔵の金田一京助博士が来旭した際の写真や、明治後期に旭川の写真館で撮影された鶏卵（タマゴ）で作られた写真、中鉢孝撮影の第七師団被服庫新築工事の写真など170点くらいあります。また日本で幕末期に長崎で写真館を開業した上野彦馬が撮影した写真、北海道で最初期に写真館を開業（箱館）し開拓写真を数多く遺した田本研造撮影の写真、ソニーの盛田昭夫（1921-1999）氏の曾祖父・十二代盛田久左エ門彦彦（1837-1906）の肖像写真（アンプロタイプ）など約3000点のコレクションがあります。

Q. 谷口さんにとって写真とは何ですか？

「記録」と「表現」のはざま、その時々で揺れ動くメディアとしての魅力に取りつかれています。写真は私でもあり他者でもある。あるいは人生の伴走者でもあること。

Q. 最後に今後の活動予定等ございましたら教えてください。

市民活動あさひかわ写真アーカイブ研究会は、今回の展示でも会員希望者が数名名乗り出て下さったので、引き続きメンバーを増やしなが、市民の写真を収集しアーカイブする活動をより活発化したいと計画しています。

